

第7回 航空機運航のDX推進に向けた検討会  
議事概要(案)

---

---

日時：令和4年5月23日(月)10:00～11:30 Web会議

---

---

<1.開会 交通管制部長挨拶>

年度も替わり、検討会で出た意見やアイデアを踏まえながら、より実施にウェイトを置いた形にしてはどうかと考えている。今回も実りある活発な意見交換をお願いしたい。

<2.議事>

① 新たな構成員の参加について

事務局から説明

② SWIM整備の進捗状況

資料1を事務局から説明

○APIを取得する場合の通信回線の環境は、VPNによる接続のみならず、インターネットのようなオープンなネットワークでもアクセス可能か確認したい。

⇒IPネットワークであれば、何でも可能となるように準備を進めている。

○サービスカタログが提示されるタイミングや事業者がテスト可能となる時期はいつ位になるのか。

⇒サービスカタログが利用できるタイミングが2度あり、初回については今年の夏頃の準備を目指したい。最終的に仕様が固まるのは航空局の開発が終わる時期となるため、2回目は2024年度末になるだろう。

③ 検討会におけるこれまでの議論

④ 今後の取り組みの進め方

資料2、資料3、資料4を事務局から説明

○各チームへ参加させて頂きたい。検討会のゴールやその目標をもう少し聞かせて頂きたい。以前に検討会で、航空機からの落下物対策(航空保険の加入状況などの確認)についての効率化を発言させて頂いた。地方航空局よりメールで月に1度程度、情報が共有されるところ、タイムリーに確認ができる仕組みが構築されると良い。

⇒ゴールについては、何かを決め打ちにして議論していないことが本検討会の良さともいえるところ、いくつかのテーマに沿って検討を進めていきたい。それぞれ業務改善に繋げるため、まずは関係者のみでの検討になるかと考えている。

○個別の課題について実施にウェイトを置きながら進めていくという方向性について賛同している。検討会の中で運航手続きの効率化について発表もさせて頂いたところ、しつ

かり参画させていただきたい。一方、実施にウェイトを置くのであれば、アウトプットのタイミングが重要となる。また、ルール整備がなければ実現に移していくことは難しい。局面によっては、事務局からのフォロー等をお願いしたい。

⇒航空局としても、検討の事務的な作業を含めてサポートさせていただく。

○各チームの検討状況については、今年度の検討会で共有されることでよいか。

⇒まずはチームを立ち上げることが重要。検討会についても進捗等を報告していきたい。

○4つのチームの立ち上げに興味があり、すべてにおいて関わらせていただきたい。チーム④については、地方空港“発”とした活動をしていければと思う。地方空港に閉じた形になると最終的なゴールの規模が小さくなる恐れがあり、地方管理空港に限定するものではなく、国管理空港の管理者という立場として、航空局に参画させていただきたい。

⇒“主に”地方空港としており、ご指摘の内容も想定しているが、いずれにしても、決め打ちすることなくやって参りたい。

### <3.閉会 森川座長>

国として、このように“走りながら考える”というやり方は大変珍しい。

デジタル分野というものは、進めながら見直し、検討する流れであると認識している。検討を進めていく中で、チームのタイトルが変わっても、チームの数が増えても構わないと思っている。今後とも、是非、議論への皆様方の積極的なご参加をお願いしたい。

以上